

科目名	熱帯果樹 (コースⅡ)	担当者	與那原 琢
履修学科・学年	熱帯農業科・2学年	履修単位	3単位

概要及び目標	熱帯果樹栽培に適した果樹の栽培と経営に必要な知識と技術を習得させ、果樹の特性や栽培に適した環境を理解させるとともに、品質と生産性の向上を図る能力と態度を育てる。特に、本県の亜熱帯の地域性をいかした熱帯果樹栽培については、その特性が最大限に活用できるよう、専門的知識と技術を習得させる。
評価の観点及び方法	[評価の観点] ①関心・意欲・態度 ②思考・判断・表現 ③技能 ④知識・理解 [評価の方法] ・提出物(20%) ・ワークシート(10%) ・定期考査(50%) ・授業態度と出席(20%)
使用教科書及び教材	7 実教 農業 312 「果樹」 他 関連資料 沖縄県農林水産部「沖縄県果樹栽培要領」
その他留意点	授業は、基本的に座学と実験・実習を5:5程度の比率で実施。寄合原農場において、農場実習を取り入れた授業展開を行う。

学習計画

学期	項目	学習内容
1	1 プロジェクト学習の計画	・プロジェクト学習計画の立て方
	2 果樹の種類と特性	・主な熱帯果樹の種類と来歴
	3 結果習性	・結果習性 ・花芽分化
	4 開花結実	・開花 ・受粉、受精 ・単為結果
	5 結実管理	・生理落下 ・果実の肥大 ・結実管理
	6 マンゴーの品種と特性	・マンゴーの主な品種 ・栽培特性
	7 収穫	・収穫前管理 ・果実の品質調査 ・収量調査
2	収穫	・収穫前管理 ・果実の品質調査 ・収量調査
	6 繁殖	・マンゴーの繁殖法 育苗
	7 樹形と整枝剪定	・幼木の剪定 ・結果枝の剪定 ・樹形整枝
	8 植栽	・植え付け準備 ・植え付け ・肥培管理
3	9 土壌管理と施肥	・点滴灌水と土壌管理 ・肥料の種類と施肥
	10 病害虫の防除	・病害虫の種類とその症状 ・農薬の種類と効果
	11 プロジェクト学習のまとめ	・記録簿の整理 ・レポートのまとめ 発表

科目名	熱帯果樹 (コースⅢ・Ⅳ)	担当者	與那原 琢
履修学科・学年	熱帯農業科・3学年	履修単位	4単位

概要及び目標	熱帯果樹栽培に適した果樹の栽培と経営に必要な知識と技術を習得させ、果樹の特性や栽培に適した環境を理解させるとともに、品質と生産性の向上を図る能力と態度を育てる。特に、本県の亜熱帯の地域性をいかした熱帯果樹栽培については、その特性が最大限に活用できるよう、専門的知識と技術を習得させる。
評価の観点及び方法	[評価の観点] ①関心・意欲・態度 ②思考・判断・表現 ③技能 ④知識・理解 [評価の方法] ・提出物(20%) ・ワークシート(10%) ・定期考査(50%) ・授業態度と出席(20%)
使用教科書及び教材	7 実教 農業 312 「果樹」 他 関連資料 沖縄県農林水産部「沖縄県果樹栽培要領」
その他留意点	授業は、基本的に座学と実験・実習を5:5程度の比率で実施。寄合原農場において、農場実習を取り入れた授業展開を行う。

学習計画

学期	学習内容	備考
1	(1)プロジェクト学習計画の立案 (2)沖縄における果樹栽培の歴史と現状(講義・調査)	
	(3)苗木の生産と植え付け(講義・実習) バナナの株分け、カンキツ類の接木、アセロラの取り木、パッションフルーツの挿し木等、様々な熱帯果樹を用いて、それぞれに適した苗木の生産技術について学習します。 (4)パッションフルーツの栽培(講義・実習) 生食用適品種「紫種」と加工用適品種「黄色大玉種」の2品種について、各々の栽培特性を学びます。 (5)バナナの栽培(講義・実習) 県内で栽培されているバナナの品種について学習するとともに、バナナの結果習性を学習します。	視聴覚機器 利用します。 収穫した果実は加工実習に使えるよう、冷凍保存する。
2	(6)アテモヤの栽培(講義・実習) アテモヤの特性、①人工授粉、②栽培管理、③果実の利用 (7)その他の熱帯果樹の栽培(講義・実習) 新品種の導入が盛んな熱帯果樹について、試験栽培とその活用(利用)法について学習します。 (8)熱帯果樹の利用(講義・実習) 生産した果実の二次的利用について、基本的な知識・技術を学ばせる。新たな活用法として、6次産業化を視野に入れた、生産体系を学びます。	農場内農産 加工施設を有効 に利用する。
3	(9)病害虫の防除(講義・観察・実習) 本県(北部地域)の熱帯果樹栽培体系における病害虫の発生状況とその防除について、基本的な知識を学習します。 (10)プロジェクト学習のまとめと発表	